

消防団たずね歩き

新人さんいらっしゃい



中央消防団 第5分団員
糸 慶治

中央消防団第5分団に一風変わった人物がいます。それはインド出身のデワン・ラジャ・ガーデブさんです。決してデブではありません。みんなはラジャさんと呼んでいます。話せば長くなりますが、二十余年前にインドから中国を経て日本にやってきました。最初は貿易の仕事しながら、各地を回っていたそうで、その間に日本語も上達し、通訳のような仕事もしていたとのこと。そして、日本各地をいろいろと旅した中で、一番落ち着くことができ、また他の土地と比べ外国人が多く、国際的であると感じたことから、神戸に住むようになりました。気がつけば素敵な日本人の奥さんと結婚し、そしてカワイイお子さんまで…幸せいっぱいラジャさんです。家庭円満の秘訣を聞くと、「絶対服従」とのこと、それは万国共通のようです。そんな順風満帆な生活を送っていた時、阪神・淡路大震災が起こりました。壊滅的な被害を受けた神戸の町並みを目の当たりにし、ラジャさんは多大な喪失感に苛まれました。そのとき、何か地元の人達と触れ合う機会を増やしたいと思

い、翌年北野町にインド料理の店「ガネーシャ・ガル」をオープンしました。北インドの家庭料理をコンセプトにさまざまなカレーやナンが楽しめて、ほかに香辛料や素敵な雑貨なども販売、これ以上はお店で体験してください。街の復興を願いながら店を続け、今では北野界わいでは知らない人はいない有名人(?)に…。人とのつながり、絆を大切に考え、日本への愛着も深く「もう僕は日本に骨を埋めるよ」というほど。たまに変な日本語が飛び出しても、そこは愛嬌で場を和ませます。消防団員としてさまざまな場で活躍し、人と人との絆を消防ホースのようにつなぎ、わが街神戸の安全と安心のために頑張っているラジャさん。私たちはこんな新人さんを心から歓迎しています。みなさんも中央消防団第5分団のラジャさんをよろしくお願ひします。



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

